

# ポストコロナを見据えた 日本経済の行方

2021.

9/4 (土)

14:00~17:00

参加費  
無料

□事前申込制 (先着200名)

□オンライン開催 (Zoom)

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、昨年の世界経済は未曾有のマイナス成長となったが、いち早く経済を再成長軌道に乗せた国々も存在している。また、ワクチン接種が先進国・新興国などで急速に進んでおり、今回の感染症の収束に向けた動きが本格化しつつある。そして、日本経済についても2020年度はマイナス5.2%であったが、2021年度は6%近いプラス成長になるとの予測が出ている。

今、ポストコロナを見据えた日本経済の行方に注目が集まっている。しかしながら、国内外での政治経済社会の動きは複雑であることから、日本経済の成長要因と制約要因を見通す視点、米国や中国をはじめとしたグローバルな動向を見極める視点を提供したい。



講師：岡本薫明氏

## 経歴

1983年に大蔵省(現財務省)に入省。昭和、平成、令和にまたがる37年間の勤務の中で主に予算編成の仕事に従事。財政健全化に取り組むとともに、リーマンショック等の際の経済対策にも携わった。2001年から3年間は金融庁に出向し、金融危機対応室長としてりそな銀行への公的資金投入等を担当。2017年財務省主計局長、2018年財務事務次官を歴任し、2020年7月に財務省を退官。現在は日本生命、アクセンチュア、ドリーム・インキュベータ等の顧問を務める。



講師：安藤佳則氏

## 経歴

1981年三菱重工業(株)に入社後、同社印刷機械の海外市場開拓、販売網設立に従事。その後マッキンゼー・アンド・カンパニーを経て、1994年に米国の情報処理大手エレクトロニック・データ・システムズ(EDS)日本法人の取締役副社長。1999年に米国系コンサルティング会社A.T.カーニーに移籍後、日本代表、ノースアジア代表、アジアパシフィック代表を歴任。その後イーソリューションズ(株)代表取締役会長を経て現職。東京大学法学部卒業、ハーバード大学経営大学院修了。

## ■プログラム

14:00 開会挨拶/趣旨説明

14:10 講演1 内外の経済情勢と日本経済の課題

講師：岡本薫明氏

立命館大学大学院経営管理研究科客員教授・日本生命保険相互会社特別顧問・元財務事務次官

14:55 講演2 ポストコロナのグローバル競争

講師：安藤佳則氏

株式会社安藤佳則事務所代表・EPSホールディングス株式会社社外取締役・日本ATM株式会社社外取締役

15:50 ディスカッションおよび質疑応答

コーディネーター：肥塚 浩教授

立命館大学大学院 経営管理研究科 研究科長・教授

お申込み・企画詳細は経営管理研究科のホームページでご確認ください

【お問合せ】立命館大学経営管理研究科事務局OIC独立研究科事務局

E-mail: rbs-ras@st.ritsume.ac.jp

立命館MBA

検索

